

第 23 講 【 病理と病証 IV 】 教科書 P.74～76

『 臟腑弁証（病証） 』

臟腑弁証とは臟腑の生理機能と病変特徴に対する認識の基礎もと、四診で収集された症状・象に対し総合分析を行い、疾病の所在臟腑部位・病因・病性等を判断する弁証方法である。

臟腑弁証は主に内・外・婦人・小児科等の内傷雑病に用いられる。

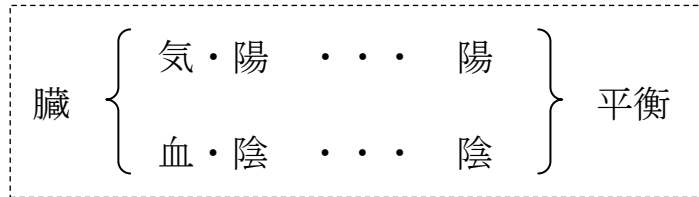
- [内容]
- 臟病弁証（五臟弁証）
 - 腑病弁証（六腑弁証）
 - 臟腑兼病弁証（臟腑間弁証）

※ 臟腑兼病弁証とは

2つ或いは2つ以上の臟腑が同時に病理状態にあるもの。
 人体の各臟腑は生理機能上密接な関係を持っている。
 各臟腑は独自の働きをする事もあるが合同で複雑な生理機能を完成させ人体の正常な生命活動を維持している。故に各臟腑は相互に影響しあう臟腑の失調が他の臟腑の失調を引き起こし、臟腑兼病を引き起こす。

[五臟の機能構成]

* 臟は 臟氣・臟血・臟陰・臟陽により構成される。



『 臨床での臟腑氣血陰陽失調の傾向 』

心	:	<u>心氣</u> ↓	—	<u>心血</u> ↓	—	<u>心陰</u> ↓	—	<u>心陽</u> ↑↓
肺	:	<u>肺氣</u> ↓	—	肺血	—	<u>肺陰</u> ↓	—	肺陽
脾	:	<u>脾氣</u> ↓	—	脾血	—	脾陰	—	<u>脾陽</u> ↓
肝	:	<u>肝氣</u> ↑	—	<u>肝血</u> ↓	—	<u>肝陰</u> ↓	—	<u>肝陽</u> ↑
腎	:	<u>腎氣</u> ↓	—	<u>腎精</u> ↓	—	<u>腎陰</u> ↓	—	<u>腎陽</u> ↓

【 五臟弁証 】

『 心の弁証(病証) 』

復習 1. 『 心の生理機能 』

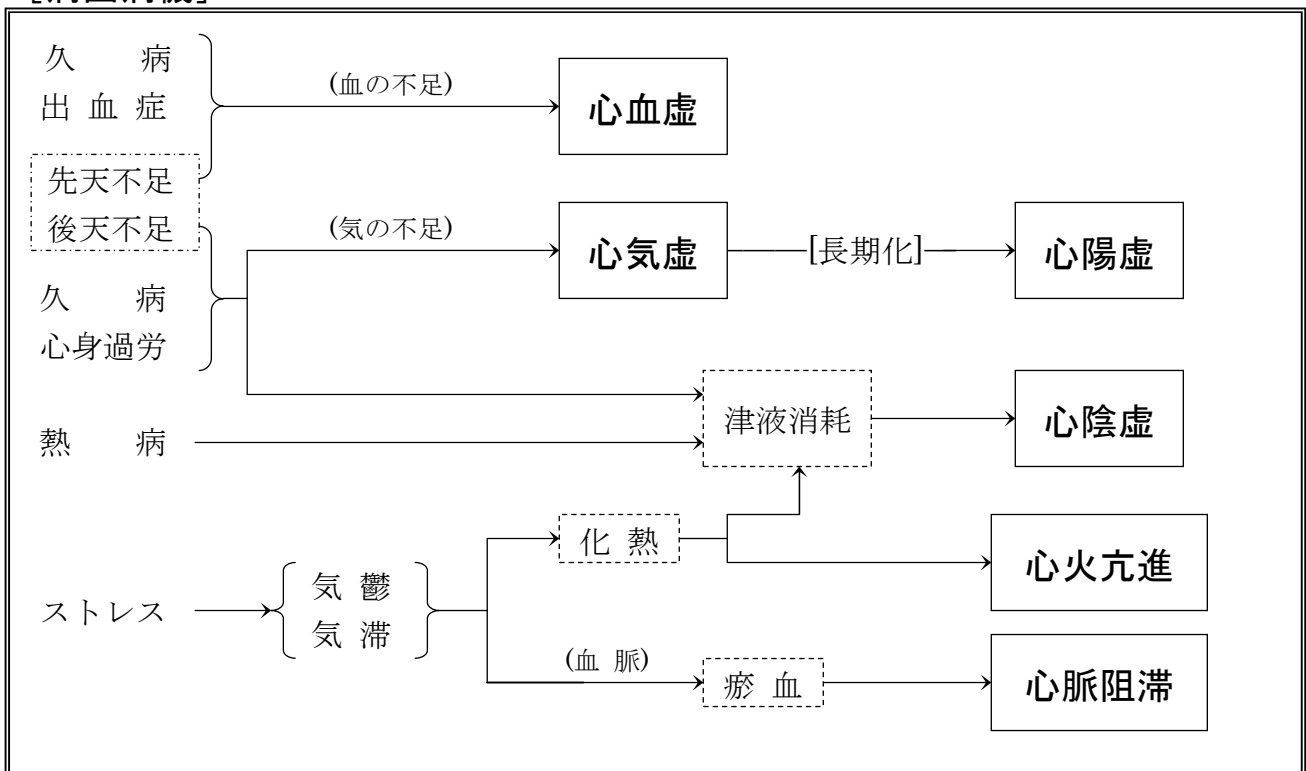
- ① 主血脈：心は血及び血脈を主っており、血の生成と運行を管理している。
- ② 主神志：心は人の精神・意識・思考・感情活動を管理している。

復習 2. 『 心の気血陰陽失調の傾向 』

心 : 心気↓ — 心血↓ — 心陰↓ — 心陽↑↓

[分類] { 虚証：心気虚、心陽虚、心血虚、心陰虚
 実証：心火亢進、心脈阻滞

[病因病機]



[常見症状]

『主症状』

心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、譫語

- * 主血脈の失調 → 失眠、多夢、健忘、譫語等
- * 主神志の失調 → 心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛等
- * 主血脈・神志両方の失調 → 心煩

『代表病証』

① 心気虚

: 心を構成する物質のひとつである心気が不足した病態。

[症状] 心主症状 + 気虚症状

② 心血虚

: 心を構成する物質のひとつである心血が不足した病態。

[症状] 心主症状 + 血虚症状

③ 心陽虚

: 心を構成する物質のひとつである心陽が不足した病態。

[症状] 心主症状 + 陽虚症状 (気虚症状 + 虚寒症状)

④ 心陰虚

: 心を構成する物質のひとつである心陰が不足した病態。

[症状] 心主症状 + 陰虚症状 (津液不足症状 + 虚熱症状)

⑤ 心火亢進

: 心を構成する物質のひとつである心陽が亢進した病態。

[症 状] 心主症状 + 実熱症状

⑥ 心脈阻滯

: 瘀血、痰濁、寒邪、氣滯などにより心脈が阻痺した病態。

[症 状] 心主症状 + 瘀血症状

『 代表病証まとめ 』

	証 名	八 綱	具 体 症 状
①	心気虚	裏 虚	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、 譫語、倦怠感、精神疲労、無力感、呼吸微弱、自汗、活動後 に諸症状悪化、眩暈、舌淡、脈虚・無力
②	心血虚	裏 虚	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、 譫語、顔面蒼白・萎黄、爪・唇・眼瞼結膜の色が薄い、眩暈、 手足の痺れ、心悸多夢、白髪・脱毛、月経不調、舌淡、脈細 無力
③	心陽虚	裏虚寒	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、 譫語、倦怠感、精神疲労、無力感、呼吸微弱、自汗、活動 後に諸症状悪化、眩暈、舌淡、寒がる、冷える、喜温喜按 等の症状、顔色が白っぽい、多尿透明、舌胖大（歯痕）、脈 脈遅・虚・無力
④	心陰虚	裏虚熱	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、 譫語、口・唇・咽喉・皮膚・粘膜等の乾燥、口渴、尿量減 少、大便乾燥、微熱、潮熱、五心煩熱、盜汗、舌紅少津、脈 細数
⑤	心火亢進	裏実熱	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛、心煩、失眠、多夢、健忘、 譫語、壮熱、顔面紅潮、目赤、煩燥、口渴・喜冷飲、尿少色 黄、大便乾燥、舌紅（或いは舌絳・紅絳）苔黄、脈数・洪
⑥	心脈阻滯	裏 実	心悸・動悸・怔忡、心痛・胸痛(刺痛、固定性)、心煩、失眠、 多夢、チアノーゼ、四肢厥冷、舌質紫暗・瘀点瘀斑、脈澀・ 結代